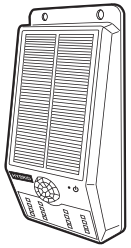
monban

ソーラー発電式
ハイブリッドウォールライト



取扱説明書

LS-SHB140FN4-K（品番：06-4232）
LS-SHB140FN4-T（品番：06-4233）

〈お客様へのお願い〉 この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保管し、必要なときにお読みください。

⚠「ご使用の前に」必ず初期充電をおこなってください。

ご購入いただいた状態は充電が不十分です。晴天の日に約2日間充電したあとにご使用ください。
※ソーラーパネルに直射日光が長時間当たる場所を選び充電してください。満充電までの時間は季節・日照時間・天候により異なります。

1 安全に関するご注意

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

図記号の説明

⚠警告	「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

表示の説明

⃠	禁止の行為であることを告げるものです。
❗	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

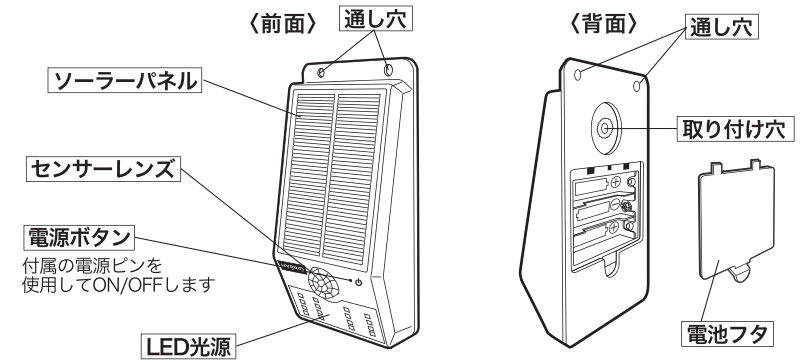
⚠警告	守る	**●本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、確実におこなってください。**	分解禁止	**●分解・改造はお止めください。**
	禁止	**●本体は水平に取り付けてください。** 斜めや逆さまに取り付けると正しく検知が出来ないことがあります。 また雨水が入り故障の原因となります。 **●本体を大量の水がかかる場所に設置しないでください。** 通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありません。	禁止	**●点灯中のライトを直視しないでください。** 視力に悪影響を及ぼすおそれがあります。 **●布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けないでください。** 火災の原因になります。

⚠注意

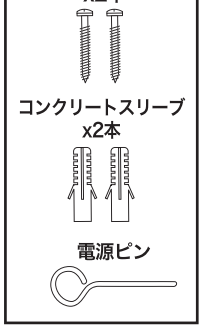
- ●本機は人を検知した時にライトを点灯させる機能を有しておりますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。
  万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ●気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。
- ●曇りの日が続くと電池残量が少なくなりライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。
  その場合は太陽光による充電をおこなってください。
- ●電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ●モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ●ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けないでください。
- ●落下・故障の原因になりますので必ず付属品または別売品を正しく使用してください。
- ●本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。
- ●本体の取付ネジや結束バンドは半年に1～2回を目処に、ゆるみやガタつきがないか点検してください。
- ●発電性能に影響しますのでソーラーパネル表面のほこり・汚れを定期的に清掃してください。また積雪した場合は除雪してください。
- ●極度の低温下では充電能力が低下する場合があります。
- ●LEDの交換はできません。
- ●ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが商品の特性上ご了承ください。
- ●仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。
- ●乾電池の残量が少なくなると、ライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。その場合は乾電池交換をおこなってください。
- ●乾電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。
  - ・乾電池は⊕⊖方向を正しく入れてください。
  - ・古い乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・長期間ご使用にならない場合は乾電池を取り外してください。
  - ・乾電池は充電しないでください。
  - ・乾電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

2 各部の説明

■本体



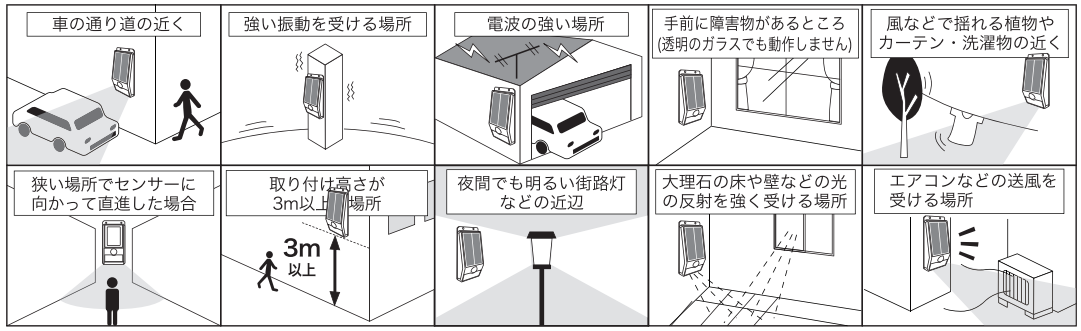
■付属品



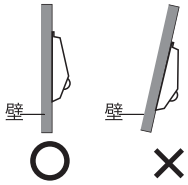
3 ライト本体の取り付け

⚠ 取り付け注意

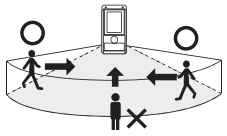
次のような場所に取り付けるとセンサーが周囲の明るさと温度変化を検知して誤動作や動作しないことがあります。



⚠ **本体を傾けて取り付けないでください。**
検知機能が正常に動作しなくなったり、内部に雨水が入り故障の原因になります。



⚠ **本体に対して人が横切るような場所に取り付けてください。**
本体正面に対して直進するとセンサーの特性上、検知しないことがあります。



4 ライト本体の取り付け

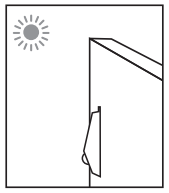
⚠本体を動作させる前に初期充電を必ずおこなってください。

ご購入いただいた状態は充電が不十分です。
晴天の日に約2日間充電したあとにご使用ください。

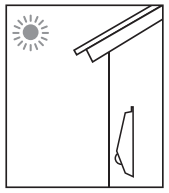
●本体は以下のように取り付けてください。
- ・直射日光が長い時間あたる南向きの壁面や屋根の上
- ・樹木や建物の陰にならない場所
- ・地面に対して垂直な壁

⚠万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

壁に取り付け



壁に取り付け

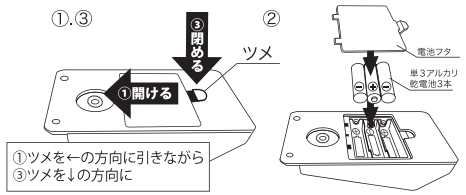


5 乾電池の入れ方 ※日照不足で充電池の残量が低下すると乾電池で動作します。

①本体背面の電池フタのツメを図のように引き上げ取り外します。
※ツメが固い場合はマイナスドライバーで引き上げてください。

②電池ケース内の⊕⊖表示を確認して、単3アルカリ乾電池3本をセットします。

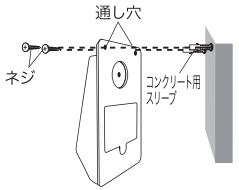
③電池フタを取り付けます。ツメを図のように押してフタを閉めます。
※乾電池はソーラー充電不足の場合の補助電源です。
ソーラー充電が完全放電した場合は乾電池だけで動作できません。



6 本体取り付け方法 ⚠ 万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

(a)ネジで取り付け

《壁に取り付ける場合》

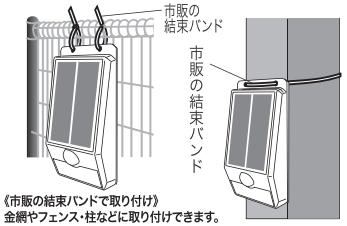


ネジで壁に固定します。

《コンクリート壁に取り付ける場合》
コンクリート壁に取り付ける場合は以下のように先に壁にコンクリート用スリーブを打ち込んでからネジで取り付けてください。

●先にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。
●そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込みます。

(b) 市販の結束バンドで柱やフェンスに取り付け

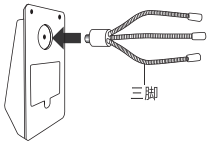


《市販の結束バンドで取り付け》
金網やフェンス・柱などに取り付けできます。

※市販の結束バンド幅4mmまで使用できます。
※市販の結束バンドを使用しての本機の破損や落下などの事故の保証はありません。

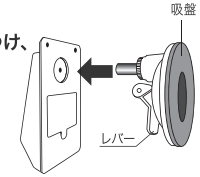
(c)三脚（別売品:06-4204）で取り付け

①三脚のネジ部分を取り付け穴にネジ締めします。
②風や振動で揺れないようしっかりと巻きつけてください。



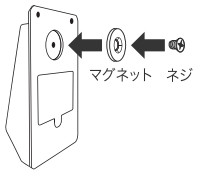
(d)吸盤（別売品:06-4205）で取り付け

※凹凸のまたはざらざらした窓や壁には取り付けできません。
※壁紙や塗り壁は取り外す時に壁がはがれますのでおやめください。
※窓に取り付ける場合、窓を開け閉めする際に本機に強い衝撃がかからないようにご注意ください。
①取り付ける面の汚れをきれいに拭き取り、よく乾かしてください。
②吸盤のネジ部分を取り付け穴にネジ締めします。
この時レバーが本体に引っかからないようレバーを少し下げながらネジ締めしてください。
③吸盤のレバーを上げた状態で窓・壁面にしっかり押しつけ、すき間がないようにします。
④吸盤のレバーを下げ、固定します。



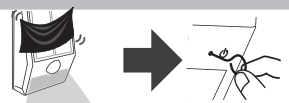
(e)マグネット（別売品:06-4206）で取り付け

①マグネットを取り付け穴に取り付け、ネジ締めします。
②金属の壁面に取り付けします。



7 ライトの点灯確認

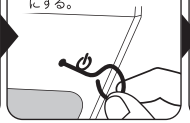
●周囲が明るい場所での点灯確認
ソーラーパネルを黒い布で覆った状態で付属の電源ピンで電源ボタンを押して「ON」にするとライトが全点灯します。（約2〜10秒）



8 センサーの動作テスト ※必ず暗い環境でおこなってください。

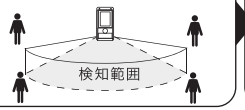
①ソーラーパネルを黒い布で覆う。

②電源ボタンを付属の電源ピンで押して「ON」にする。



③ウォーミングアップ約2〜10秒間全点灯。

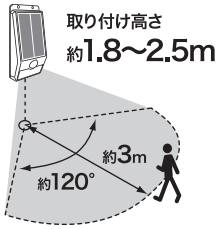
④ウォーミングアップ中は検知範囲から出る、またはセンサーレンズを黒い布などで覆い常夜灯になるまで待つ。



⑤そのあと検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯を確認してください。

検知エリア

・高度：約1.8〜2.5m
※この推奨範囲より低い位置に設置する場合は、動作をよく確認の上、ご使用ください。
・検知距離：最大約3m(中央)
・角度：約120°



⚠ 検知エリアに関するご注意

●検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
●センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
●夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき検知しない場合があります。
●検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
●センサーライトの真下は検知できない場合があります。

9 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない	・電源ボタンがOFFになっている	電源ピンで電源ボタンを押してONにしてください。
	・充電池の充電不足 ・ソーラーパネルが汚れていて充電が不足している	充電を行ってください。「ご使用の前に」をご参照ください。 ソーラーパネル部を清掃してください。
	・周囲が明るい	ライトは点灯しません。
	・検知エリアの設定が適切でない ・センサー部に向かって直進している ・センサーレンズが汚れている	取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。 「7.センサーの動作テスト」をご参照ください。
	・センサーレンズに蒸気や雨などの水滴が付いている ・寒いときや雨降りのときに人がマフラーや傘などで覆われている ・夏場で周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい ・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。
	・検知エリアが遮られている	センサーの前に壁やガラスがあると検知出来ません。 取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。
	・乾電池が入っていない。または乾電池の接続方法が間違えている ・乾電池の電圧が低下している	乾電池の⊕⊖を確認し正しくセットしてください。 新しい乾電池に交換してください。
ライトが点灯したまま消灯しない	・検知エリア内および周囲に誤動作源がある (例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口 ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト ・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している	誤動作源を取り除くか取り付け位置を変更、及び検知エリアの調整をやり直してください。
ライトが昼なのに点灯する	・周囲が暗い	周囲が暗いとライトは点灯します。
点灯回数が少なくなった	・晴天の日が少なく充電が不足している ・ソーラーパネルが汚れていて充電が不足している	充電を行ってください。「5.本体の取り付け場所」をご参照ください。 ソーラーパネル部を清掃してください。
	・乾電池の電圧が低下している	新しい乾電池に交換してください。

10 仕様

名称	LEDセンサーウォールライト　ハイブリッド式
検知方式	赤外線受動式
電源	リチウムイオン充電池 3.7V 1000mAh（内蔵充電池の交換はできません） 単3形アルカリ乾電池3本（別売）
点灯回数	ソーラーモード：〈満充電時〉約300回〈平均〉春夏秋：約60回　冬:約40回 乾電池モード：約150回　※日照条件、乾電池の性能により大幅に変わる場合があります。
光源	06-4232は白色LED・06-4233は電球色LED
点灯保持時間	約10秒（固定）

水に対する保護等級	IPX4 (JIS C0920:2003による) IPX4は「あらゆる方向からの水の飛まつに対する保護等級」
使用周囲温度範囲	-5℃〜+45℃
質量	約 155g (乾電池を除く)
外形寸法	幅 85x高さ168x奥行き42mm
付属品	コンクリート用スリーブ2本、ネジ2本、電源ピン1本
ソーラーパネル	多結晶シリコン

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭 3-8
https://www.ohm-electric.co.jp
電話受付 平日 9：00〜17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
お客様相談室
通話料無料
0120-963-006
携帯・IP・公衆電話からは
048-992-2735